

子どもの安全を守るために

保護者や地域の皆さんの

ご理解とご協力をお願いします



平成17年11月に広島市、12月に旧今市市で下校中の児童が殺害されるという大変痛ましい事件が連続して発生しました。全国で安全強化を図っている矢先に起きた衝撃的な事件であり、日本中を震撼させました。市内でも、各地から不審者の情報が数多く寄せられるなど、子どもの安全が脅かされています。

そこで各学校や市では、児童生徒の安全確保のためにいくつかの取り組みを行っています。

保護者や地域の皆さんにも、地域ぐるみの取り組みによって子どもたちがより安全に生活を送れるよう、引き続きご協力をお願いします。

防犯ブザー

市では、小学生と中学生女子の希望者に防犯ブザーを貸与しています。防犯ブザーをランドセルなどに付け、自分で身を守る意識を高めるとともに身の危険を感じた場合にブザーを鳴らすよう、学校を通じて指導をしています。万が一、自宅周辺などで「ピー・ピー」という警告音が聞こ



警告音でSOSを
が、自宅周辺
などで「ピー・
ピー」という
警告音が聞こ

えたら、子どもが助けを求めている合図です。その際には現地に駆け付けたり、周囲の人と協力して子どもを助けてくださるようお願いします。

また、ブザーの定期的な点検や、子どもたちの通学路での安全状況、危険を感じたときに逃げ込むことのできる「こども一一〇番の家」の再確認などについて、家族で話し合う機会をつくるよう心掛けてください。

スクールガード・リーダーを派遣

学校防犯に関わる保護者や地域の皆さん・学校に対して、より良い防犯活動を行うための指導・援助・評価を防犯の専門家の立場から行うスクールガード・リーダーを各学校に派遣しています。

スクールガード・リーダーは小学校1校当たり年に3回派遣され、防犯ボランティア養成や学校施設などの防犯上の課題解消のための指導・助言、不審者対応避難訓練および学校安全に関わる校内研修の講師などに当たります。

学校情報配信システム

市では、市内の公立小中学校で学校情報配信システムを導入して

合言葉は「いかのおすし」

犯罪に遭わないための約束事として、警視庁生活安全部の標語「いかのおすし」が使われています。ご家庭でも、子どもたちに指導するようお願いします。

いか…知らない人についていかない
の…他人の車にのらない
お…おおごえをだす
す…すぐ逃げる
し…何かあったらすぐしらせる

います。

このシステムは学校ごとに登録した保護者や関係者の携帯電話に不審者などの情報をメールで配信するものです。

メールアドレスなど、登録者の個人情報については、委託業者により厳重に管理されており、ほかに漏れることはありません。

メール受信時に発生する受信料は登録者に負担していただいています。

各学校から登録手続きの文書が配布されます。登録が済んでいない人は早めの手続きをお願いします。登録などに関するお問い合わせは各学校または教育指導課までお願いします。

※くわしくは同課(☎20-1582)へ。